

ー 穂波小学校における「地震・津波対策」 ー

○ 建物破損や倒壊につながるような大きな地震が起きた場合の対応について

避難レベル	避難場所	避難の内容
第3次避難	南校舎2・3階	津波警報の情報を正確に捉え、6m未満であれば、南校舎2・3階の10教室に各学年ごとに避難する。
	ブラザー工業瑞穂工場 第14ビル屋上	津波の高さが6mを超える場合は、隣接するブラザー工業へ避難する。

☆ 地震の被害が大きく※¹、メール配信等の情報伝達手段が利用できなくなった場合、まずは穂波小学校へお越しく下さい。どこに避難しているか、お知らせできる体制を整えておきたいと思っております（正門、西門に避難場所を表示する予定です）。

※¹ 震度5強以上の時は、子どもは学校に待機させます。
震度4以下の場合は、子どもを原則として下校させますが、交通機関に影響があり、保護者の帰宅が困難になるなどの理由がある場合は、学校で預かります。
この場合、必ず児童の引き取りをお願いします。

☆ 震度5強以上の地震が発生した場合は、学校から連絡があるまでの間、臨時休業となります。

○ 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合の対応について

在 校 中	○ 授業を始めとする教育活動はそのまま行い、その後の状況によって保護者の引き取りによる下校を行います。 ※ 児童は、各教室で待機し、保護者の来校を待ちます。 ※ すぐに引き取りができない場合は、児童を校内に待機させ、保護者の来校を待ちます。
在 宅 中	○ 学校から連絡があるまでの間、臨時休業とします。
登 校 中	○ 児童は、そのまま登校します。 ○ 登校後は、在校中に準じた措置を取ります。
下 校 中	○ 児童は、そのまま下校します。 ○ 下校後は、在宅中に準じた措置を取ります。

☆ 翌日以後、学校から連絡があるまでは、臨時休業となります。

☆ 注意情報が発表された場合の児童の引き取り依頼の連絡と、安全が確保され授業を再開するときの連絡は、原則として「なごやっ子あんしんメール」を使って行います。

○ 名古屋市教育委員会が前日に休校を決定した場合

平日・土日祝を問わず、前日午前12時までに教育委員会より「なごやっ子あんしんメール(きずなネット)」と「教育委員会ホームページ」でお知らせします。

※メール配信は、通信状況により、配信が遅れることがあります。